

◆授業設計のポイント◆

- ① 深い学びを実現できる授業づくり
- ② 対話的な学びを通して、考えに広がりや深まりが生まれる手立ての工夫
- ③ 見通し、振り返る活動の充実を図り、主体的な学びを実現する指導の工夫

社会科学学習指導案（地理的分野）

学 級 1年5組 41名（男子21名・女子20名）
場 所 1年5組 教室（1年 校舎 4階）
授業者 教 諭 北 園 美 佐

1 単元 世界各地の人々の生活と環境

2 単元について

本単元では、世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させることをねらいとしている。その際、場所や人間と自然環境との相互依存関係などに関わる視点に着目して、世界各地の人々の生活が営まれる場所の自然的条件と社会的条件を関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することが大切である。このような学習の全体を通して、世界の人々の生活や環境の多様性、それらの相互依存関係を理解できるようにすることが求められている。そこで、中項目における場所に関わる視点としては、例えば、そこで見られる気候や植生といった自然的な側面や地域開発といった社会的な側面などからその様子や特徴を捉えることなどが考えられる。また、人間と自然環境の相互依存関係に関わる視点としては、例えば、各地の気候環境が人々の衣食住に与えている影響を捉えたり、人々による地域開発が植生などに与えている影響を捉えたりすることなどが考えられる。

本学級の生徒は、全般的に社会の学習に意欲を持って取り組んでいる。しかし、「暗記が苦手である」「覚えることが多い」などの理由から、社会科に苦手意識を持つ生徒も多い。歴史の学習を好む生徒が多く、地理を好む生徒は少数である。また、学習形態では、グループ学習については、「自分では分からないことを聞き、教えてもらえる」「自分とは違う考え方がある」といった理由で、互いに学び合おうとする意欲的な姿が見られる。表現方法については、考えや意見をまとめることは苦手ではないが、自ら学級全員の前で発言することを苦手とする生徒も多い。

本単元の指導に当たっては、気温や降水量、地域開発の視点を比較・分類・関連付けることで世界の人々の衣食住の特色と変化を捉えさせたい。そのためにも、気温や降水量、地域開発の視点を含んだ、比較しやすく、実生活と関連付けた資料を提示し、生徒の思考を揺さぶった上で、付箋やO L Bシート（マップ）等の思考ツールを活用し、対話を通して思考を整理させたい。本単元では、第1時で学習内容への関心を高めた上で単元を通した学習課題を設定し、第2～第7時で世界各地における人々の生活の様子と変容を把握させる。そして、第8時と第9時で気候と植生の関係を再確認させ、社会的条件に着目して、世界の人々の多様性を追究させることで、単元を通した学習課題の解決に迫らせたい。第1時で学習課題の解決に迫るための視点を明確にし、学習の見通しを立てさせ、O L Bシートを継続して活用して自らの考えの変化に気付かせたい。また、気候や環境が人々の衣食住に与える影響だけではなく、人々による地域開発が植生や衣食住に与えている影響についても気付かせたり、過去から現在に至る過程において新しい技術の導入や経済活動の活発化が与えている影響について考えさせたりすることで、考えを広げ、深めさせることができると考える。これらの学習を通して、情報を比較しつつ、それらの真偽を見極め、適切に活用することができる資質・能力を育成していきたい。

3 単元の目標

- (1) 人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解することができるようにする。（知識及び技能）
- (2) 世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解することができるようにする。（知識及び技能）

- (3) 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現することができるようにする。
(思考力・判断力・表現力等)

4 単元の「学習内容の構造図」

深い理解に至った生徒の姿
気温や降水量，地域開発の視点を関連させて，世界各地に住む人々の衣食住の特色や変化を捉えることができる生徒。
単元で獲得させたい内容
世界は，寒さの厳しい土地，寒暖差の激しい土地，温暖な土地，乾燥した土地，常夏の島，標高の高い土地など場所により異なった自然環境が見られる。また，世界各地には様々な宗教が分布している。世界各地の人々の生活は，気候や地形などの自然条件や宗教などの社会的条件で地域に応じた衣食住の工夫や生活習慣の特色が見られる。近年，世界の各地域で開発が進み，人々の生活は変化してきている。場所により違いが生じ，世界各地で多様な生活の様子が見られるが，近年は，グローバル化にともない，衣食住の画一化も見られるようになった。

	具体的知識	用語
	世界各地に住む人々の衣食住の特色や変化を知るためには，気温や降水量，地域開発の視点を関連させて考えればよい。	<small>小</small> 気候 <small>小</small> 雨温図 <small>小</small> 地形
	カナダ北部にはイヌイットが暮らしている。カナダ北部は1年のほとんどが雪と氷で覆われ寒さが厳しい気候である。イヌイットはカリブーやあざらしなどの肉を食べて生活しているが，現在は狩り中心の生活から定住化が進んでいる。	◎イヌイット ◎寒帯 <small>小</small> 雨温図 ◎イグルー
	シベリアに住む人々は，冬になると厚いコートを着て，大きな帽子をかぶる。住居は太い丸太を組み合わせたログハウスが多く，窓は頑丈な二重窓，玄関のとびらは厚い木で造られているが，多くの方はコンクリート製のアパートやマンションに住んでいる。休日は校外にある家庭菜園付きの小さな家（ダーチャ）へ出かけ，新鮮な野菜やじゃがいもを作っている。	◎冷帯（亜寒帯） ◎タイガ <small>小</small> 針葉樹 <small>小</small> 広葉樹 ◎永久凍土 ◎シベリア
	かたい石が手に入りやすいイタリアでは，多くの住居の壁が石で造られており，石でできた住居の窓は小さく，窓の外側に木で造られたブラインドが付けられている。また，自家製パスタや地元産の豊富な食材を使った料理が人気である。	◎温帯 ◎地中海性気候 <small>小</small> 歴 キリスト教
	アフリカ北部のサヘルでは，遊牧が行われている。乾燥に強いひえやきび，もろこしなどの穀物を作っており，焼畑農業も行われている。主食は穀物であるが，かんがい施設の整備により米も普及してきた。住居は日干しレンガやどろやわらで造られている。	◎サヘル ◎オアシス ◎遊牧 ◎焼畑農業 <small>小</small> 地 歴 民族 ◎ かんがい ◎乾燥 <small>小</small> 地 公 砂漠化
	南太平洋にあるフィジーでは，自給自足に近い生活を送っている。住居は木や竹などで造られ，屋根はやしの葉でおおわれている。主食はタロイモ，キャッサバ，ヤムイモなどで，いもや肉を蒸し焼きにした料理が食べられている。	◎熱帯 ◎熱帯雨林 ◎さんご礁 ◎マングローブ
	南アメリカのアンデス山脈中央部のペルーに住む人々は，リヤマやアルパカ等の家畜を放牧しており，それらの毛を利用し，衣服を作っている。住居は日干しレンガや石で造られており，入り口は小さく，窓もない。主食はとうもろこしやじゃがいも等である。	<small>小</small> 高山気候 ◎標高 ◎ポンチョ ◎リヤマ ◎アルパカ
	世界は気温と降水量により五つの気候帯に分けられている。それぞれの気候帯は，寒さや乾燥の程度，季節による気候の違いにより，さらに細かい気候区に分けられている。	◎寒帯 ◎熱帯 ◎温帯 ◎冷帯（亜寒帯） ◎乾燥帯 ◎高山気候
	世界にはさまざまな宗教がある。仏教，キリスト教，イスラム教は三大宗教と呼ばれ，三大宗教の他にヒンドゥー教やユダヤ教など，特定の民族や地域と強く結びついて信仰されている様々な宗教がある。宗教どうしの考え方の違いにより，争いが起こる場合もある。	<small>小</small> 民族・人種 <small>小</small> 歴 公 仏教 <small>小</small> 歴 公 キリスト教 <small>小</small> 歴 公 イスラム教 <small>小</small> 歴 公 三大宗教 ◎ 公 ヒンドゥー教
	世界の人々は環境に適応した暮らしをしている。近年，食生活も多様化している。世界の人々の暮らしは変化を続けているが，伝統的な生活の工夫も残っている。	公 多様化 公 画一化 公 伝統的

地・歴・公は各分野で学習する用語，小は小学校での既習事項，◎は本単元で扱う用語

5 単元の指導計画（全10時間）

時	主題	学習活動	指導上の留意点
単元の学習内容への関心を高め、単元を通じた学習課題を設定する段階			
1	世界各地の人々のくらし（本時）	<ul style="list-style-type: none"> 世界の衣・食・住に関する資料から気温や降水量、地域開発の視点を関連させて考えれば、世界の衣食住の特色や変化について捉えやすいことに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 意図的な誤情報を与え、生徒の考えを揺さぶるようにする。 考える視点に気付かせるようにする。 地図を活用して、都市の場所を確認するようにする。 O L Bシートを活用する。 学習の見通しを立てさせるようにする。
	世界の人々の衣食住にはなぜ違いがあるのだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> 単元を通じた学習課題を確認し、考えを記入する。 今後の学習の流れを確認する。 	
世界各地における人々の生活の様子とその変容を把握する段階			
2	雪と氷の中で暮らす人々	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島とイカルイトの雨温図を比べて、気温の低さや降水量の少なさを読み取る。 イヌイットの生活様子の写真から、生活の工夫について考える。 資料からイヌイットの生活の変化について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 雨温図の読み取り方のポイントを説明し、理解させるようにする。 イヌイットの生活の様子写真を見て、その工夫に気付かせるようにする。 資料を活用し、イヌイットの生活の変化に気付かせるようにする。
3	寒暖の差が激しい土地に暮らす人々	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島とイルクーツクの雨温図を比べて、夏と冬の寒暖の差を読み取る。 シベリアに暮らす人々の写真を見て、服装や住居に関する工夫をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然や服装、建物に着目させ、寒さが厳しいことに気付かせるようにする。 厳しい自然の中で、さまざまな生活の工夫がなされていることに気付かせるようにする。
4	温暖な土地に暮らす人々	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島とローマの雨温図を比べて、降水の時期や植生を読み取る。 イタリアに暮らす人々の住居の資料から、わかることを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ローマのほうが鹿児島より高緯度にあることに気付かせ、日本との違いを捉えさせるようにする。 外見と室内の違いに気付かせるようにする。
5	乾燥した土地に暮らす人々	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島とトンプクトウの雨温図を比べて、気候の違いを考える。 サヘルに暮らす人々が行っている農業について考える。 資料から住居と衣服の特色を調べ、まとめる。 サヘルでは、イスラム教が広く信仰されていることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島と比べて極めて降水量が少ないことに気付かせるようにする。 農業に見られる人々の工夫に気付かせるようにする。 資料を活用し、住居や衣服の工夫に気付かせるようにする。 アフリカ北部にイスラム教が多く信仰されていることにふれさせるようにする。
6	常夏の島で暮らす人々	<ul style="list-style-type: none"> 資料から人々の生活の様子を予想する。 住居と衣服の特色を見つけ、その理由を考える。 鹿児島とナンディの雨温図を比較し、特色を読み取る。 資料から食生活について調べる。 資料を読み、フィジーの宗教について説明を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服や景観から気候や植生を読み取らせるようにする。 暑さをしのぐ工夫がされていることを理解させるようにする。 高温多雨の気候に気付かせるようにする。 農業に見られる工夫に気付かせるようにする。 さまざまな宗教が信仰されていることを捉えさせるようにする。
7	標高の高い土地に暮らす人々	<ul style="list-style-type: none"> ペルーの位置を地図帳で確認する。 住居がある場所と農牧地がある場所との関係を話し合う。 雨温図を使い、高山気候の特色を考える。 資料を見て、衣服と住居の特色を話し合う。 資料を読み、地域の変化を捉え、その原因を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> クスコの標高に着目させるようにする。 標高に応じて変化する農牧業の工夫に気付かせるようにする。 クスコの年平均気温に着目させて考えさせるようにする。 高地の気候に応じた様々な生活の工夫に気付かせるようにする。 各種産業の発達や観光客の増加が影響していることに気付かせるようにする。

8	気候と植生の関係を再確認する段階		
	世界に見られるさまざまな気候と広がり	<ul style="list-style-type: none"> 資料中の都市では、どのような自然環境の下で人々が生活しているか、鹿児島と比較して考える。 世界の気候区を見て、植物の生え方の特徴を読み取り、まとめる。 緯度と気候の関係について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の気候区分について確認させるようにする。 植生の違いに着目して写真を読み取らせるようにする。 植生の違いは、主に気温と降水量が要因であることを捉えさせるようにする。 緯度だけではなく標高も気候に影響することに気付かせるようにする。
9	宗教などの社会的条件に着目して、世界の人々の生活の多様性を追究する段階		
	人々の生活に根づく宗教	<ul style="list-style-type: none"> 主な宗教の分布を資料から読み取る。 宗教と人々の生活の結びつきについて調べ、まとめる。 インドの人々の暮らしと宗教について資料を読み取り、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各州で広く信仰されている宗教を確認させるようにする。 ヒンドゥー教は三大宗教ではないことを補足する。
10	単元を通じた学習課題を解決した上で、暮らしの変化に気付く段階		
	伝統的な生活とその変化	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地に住む人々の現在の生活の変化について資料を見て考える。 単元を通じた学習課題について、視点と関連づけて考え、まとめ、発表する。また、新たな疑問を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 人々の生活はその生活が営まれる場所の自然から影響を受けていることやその様子に変容していることに気づかせるようにする。 学習してきた内容と視点を関連づけ考え、発表できるようにする。

6 単元におけるルーブリック

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
	概要「②情報活用能力」と関連	概要「③論理的思考力」「④協働する力」と関連	概要「①課題発見力」「⑤メタ認知」と関連
4	複数の資料を比較したり関連付けたりして、世界各地の人々の生活と環境や生活の変容について基本的な考え方や概念等に関わる知識を身に付けている。	自然的条件・社会的条件等の視点と関連付けて、世界各地に住む人々の生活と環境や生活の変容について追究し、表現することができる。	日常生活の中から世界各地に住む人々の生活と環境について、課題を自ら発見し、社会に対してよりよい考えを持とうとしている。
3	複数の資料を比較し、主として事実等に関わる知識を身に付けている。	自然的条件・社会的条件等の視点と関連付けて世界各地に住む人々の生活と環境や生活の変容についてお互いの意見を整理し、自らの考えを高めることができる。	世界各地に住む人々の生活と環境について問いや追究の見通しを持って、自らの学習の過程を振り返ろうとしている。
2	課題を解決するために必要な資料を選んで、主として事実等に関わる知識を身に付けている。	世界各地に住む人々の生活と環境の特色や課題と関連付けながら自らの考えと根拠を説明することができる。	世界各地に住む人々の生活と環境について、わかったことをまとめようとしている。
1	与えられた資料から主として事実等に関わる知識を身に付けている。	自らの考えに根拠を持つことができる。	学習課題を的確に把握することができる。

7 本時の実際（1 / 10）

- 題材 世界各地の人々の暮らし
- 目標 世界各地の人々の生活は、自然環境や気候、地域開発等によって異なることに気付くことができる。
(知識及び技能)

(3) 授業設計の工夫

ア 深い学びを実現できる授業づくり・・・**研究の視点1**

既習事項の語句に深入りせず、世界各地の人々の衣食住に関する資料等を比較することで、単元を通した学習課題の解決に必要な視点（自然的条件及び社会的条件）に気付くようにする。

イ 対話的な学びを通して、考えに広がりや深まりが生まれる手立ての工夫・・・**研究の視点2**

対話を通して学びを広げ深めるために、実生活と関連し、社会的な見方・考え方を働かせやすい対極的な資料を提示する。また、思考を整理するために、ノートとICT機器を活用し、個人、ペア、班で考える場面を設定する。

ウ 見通し、振り返る活動の充実を図り、主体的な学びを実現する指導の工夫・・・**研究の視点3**

主体的な学びを実現するためには学習に対する見通しを持つことが重要である。そこで、衣食住の特色や変化を捉えるための視点を生徒に考えさせ、今後の学習に対する見通しを持たせることで、学びたいという気持ちを継続させるようにする。また、学びの過程の中で考えの変化に気付かせるために、OLBシートに学習課題に対する第一時時点での考えを記入させる。

(4) 展開

過程	時間	形態	主な学習内容	指導上の留意点
導入	5分	一斉	1 半袖と長袖の着分けについて考える。 2 本時の学習課題を確認する。	
			世界各地の人々の生活を知るためには、どのような視点が必要だろうか。	
展	33分	一斉 個ペア	3 雨温図の読み取り方について確認する。 4 服装の着分けは何で行うのか、資料を見て考える。	・小学校で学習した事項を確認する。 ・服装が季節ではなく気温で変わること気付かせるようにする。
		②情報活用力 レベル4 情報を比較しつつ、それらの真偽を見極め、適切に活用することができる。		
開	33分	個ペア	5 年間平均気温が同じような地域に作られる住居の作りについて考える。	・気温だけでなく、降水量で家の造りが変わること気付くようにする。
		個班	6 気温と降水量が同じような地域の住居の作りについて班で考え、発表する。	・気温や降水量だけでなく、地域開発や宗教等によって建物の造りが異なることに気付くようにする。 ・地図で場所を確認する。 ・多様な意見を聞くことで、考えに深まりが生まれるようにする。
			<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 研究の視点2 気付き </div> <p>S 1 : 12月のカナダでは雪が積もっていて寒いから、コートを着ている。 S 2 : 雨温図を見ると12月でも気温が高いからシンガポールでは半袖の人が多 い。季節で着けているのではないな。気温で服装は変わるんだ。</p>	
			<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 研究の視点1 納得 </div> <p>S 1 : 気温や降水量、地域開発などの視点と関連させて世界の人々の衣食住の特色や変化を捉えていけばいいんだ。</p>	
			7 衣食住の特色や変化について捉えるための視点について整理する。	

終 末	5分	個	8 単元を通した学習課題を確認し，考えを記入する。	
				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 世界の人々の衣食住にはなぜ違いがあるのだろうか。 </div>
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 研究の視点3 意志 </div> <p>S 1 : 気温や降水量，地域開発などの影響を受けているから，世界の人々の衣食住に違いがある。</p> </div>	
	5分	一斉	9 今後の学習の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板を活用し，今後の学習の流れを確認させるようにする。
	2分	一斉	10 三つの国のファストフード店の写真を見て，新たな疑問を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> 疑問を感じたまま授業を終えることで，学びの継続性を持たせるようにする。
				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>S 1 : 世界の人々の衣食住には，違いがあると思ったけど，同じファストフードの店舗が世界中にあるのはなぜなんだろうか・・・？</p> </div>